

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」に関する実績報告

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度 における取組の評価・分析を踏まえ た取組 これまでの取組状況	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 値 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上 の課題	04 障害や困 難を抱える児 童生徒への対 応	障害のある児童が地域の中でい きいきと過ごせるよう、特別な 配慮を必要とする児童への対応 を行います。	障害のある児童に適切な支援を行えるよう、 医師・カウンセラーによる巡回指導を充実す るとともに、職員研修を実施します。	子ども中高生プラザ、児童館等（放課G0 →も含む）のバリアフリー化を図るとと もに、児童の状況に応じて支援に必要な 職員を配置するなど、障害の有無にかか わらず快適に過ごせる体制を整備してい ます。	臨床心理士などの専門家によ る障害児の巡回指導を実施 し、職員の対応能力の向上を 図ります。	巡回指導の実施件 数（放課G0→の み）	12	件	18	11	02 本年 度の目標 値を下回 り、取組 の工夫、 改善が求 められる 巡回指導の実施件数は目標値を下回ったが、障害児協議 会を開催し、放課G0→クラブを利用する児童のうち、特 別な配慮を必要とする児童について加配を協議し、適切 な職員配置を行った。
②学校と地域 の課題	03 学校支援 ボランティア の確保・育成	各学校・幼稚園で活動する地域 ボランティアの数に偏りがあ る。	・教育委員会事務局に配置する地域コーディネーターが、出前授業・職場体験に協力を得られる地元企業・NPO等に地域ボランティア登録を促すとともに、学校にも出前授業等の利用促進に向けて周知を行う。 ・地域学校協働本部設置校においては、各校・園で活動する地域コーディネーターが地域に対して事業周知を行う。	・出前授業・職場体験に協力を得られる地元企業・NPO等への地域ボランティア登録に関する説明については、協力企業・団体数の増加に大きく寄与したため、継続的に実施する。	学校と地域が協働し、地域住民・地元企業等が積極的に学校に関わることで、地域の教育力を向上する。	地域学校協働活動 に参加する地域ボ ランティアの年間 延べ人数	4334	人	4500	4605	03 本年 度の目標 値を達成 し、課題 の改善が 見られた 令和6年度の実績および、本年度の目標値をやや上回 り、改善が見られた。コーディネーターが積極的に地域 に対し事業周知することで、多くの地域住民・地元企業 等が学校に関わることができている。しかし、新規で地 域コーディネーターを配置した学校・園についてボラン ティアの実績がなかった拠点もあったため、今後も引き 続き統括コーディネーターおよび事務局でアウトリー チ・ヒアリングを行うなど対策が必要だと考える。